

平成27年度 中原地域計画



平成26年 第3回中原グルメフェスティバル
(小学生によるブロッコリーの収穫のようす)

平成27年5月

中原まちづくり協議会

1. 中原地区の概要

(1) 地域の特性

中原地区の特性は、「農業」。地名のとおり、伊勢平野の真ん中にあり、田園風景が広がる地域です。住民アンケートでも、のどかな風景、豊かな自然環境、静かで暮らしやすいと、中原地区のいいところとしてあがっています。また、日本一おいしいと自慢の嬉野大根をはじめ、なばなやブロッコリーなど季節の野菜やいちごなど、ハウス栽培も含め、野菜等が多く生産されています。農業をする人口が減っている中で、中原には、専門に農業を営む方も多く、数は少ないですが、若い後継者も生まれています。

また、農業にはかせない水を確保するため、中原には古くから、ため池が作られており、黒野地区などを中心に数多くあります。昔の人々の苦労と知恵のおかげで、今の中原地区の農業があるといえます。その代表が算所の三つ池で、公園として憩いの場ともなっており、住民アンケートでも好きな場所としてあがっています。

中原地区に残る伝統行事に、津屋城の「でこさん」があります。元禄時代から始まったとされるこの行事は、台風や高潮で作物が不作のときに、紀州藩松阪領の代官さんが年貢を許してくれたことを感謝するものです。男の子が緋の着物に袴姿で、菊や南天に飾られた「でこさん」の山車を担いで家々を周ります。子どもが少なくなった現在では、途中では台車を使ったり、女の子も参加したりして、この300年も続く行事を存続させています。



旧暦 10 月 15 日に行われる津屋城でこさん



算所自治会による三つ池の花いっぱい運動

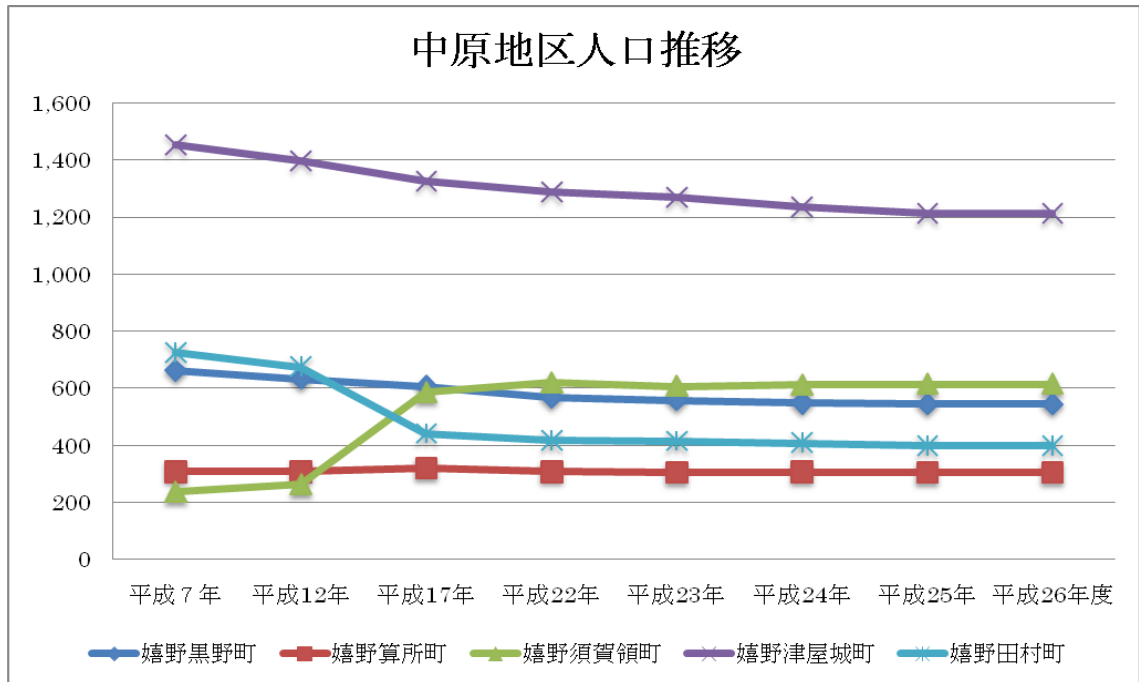


県道沿いにある嬉野だいにこの看板

(2) 基礎データ

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年度
嬉野黒野町	661	633	607	567	558	548	544	537
嬉野算所町	309	308	319	308	304	306	304	304
嬉野須賀領町	236	262	586	619	607	612	614	589
嬉野津屋城町	1,454	1,398	1,327	1,288	1,269	1,237	1,212	1,170
嬉野田村町	724	674	440	416	414	407	398	390
	3,384	3,275	3,279	3,198	3,152	3,110	3,072	2,990

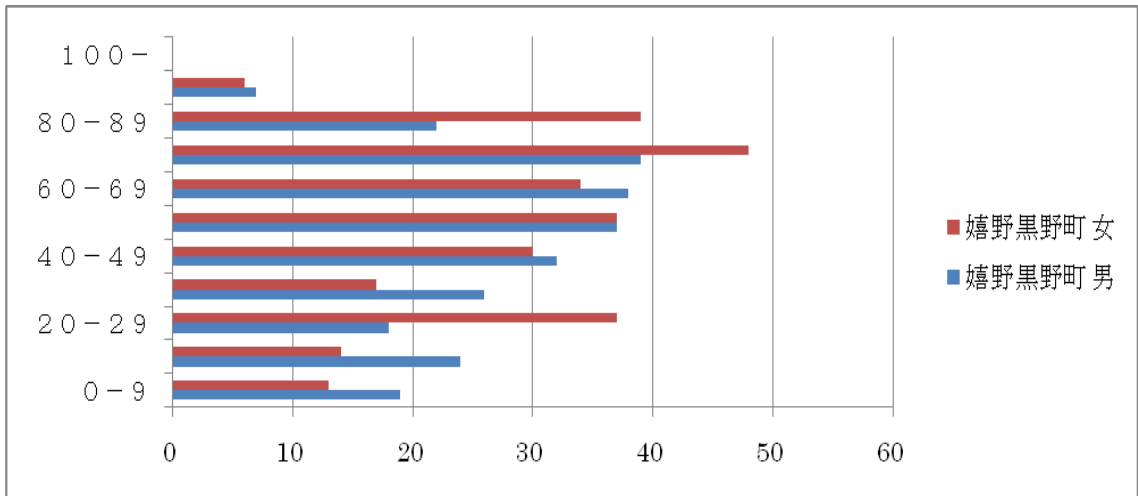
中原地区の人口推移



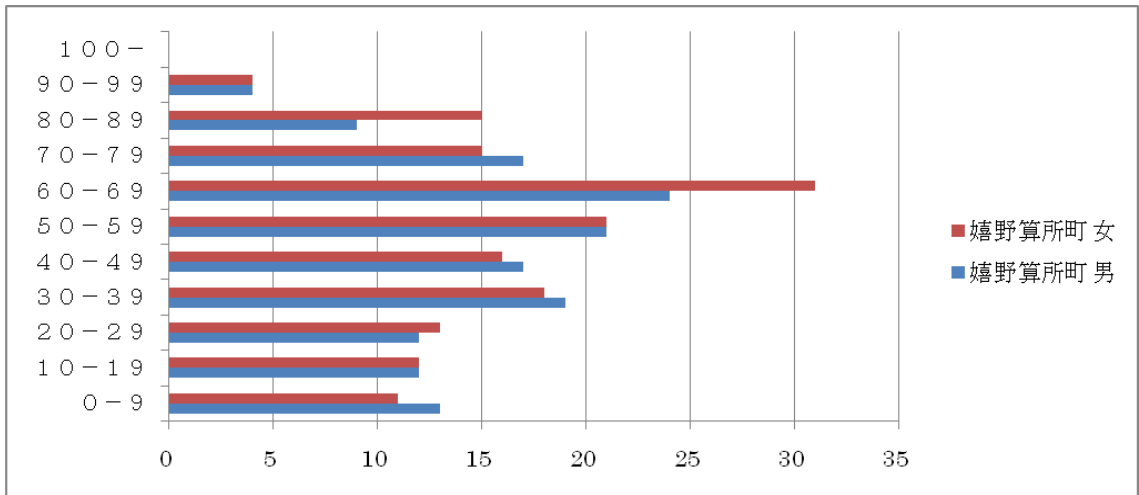
平成26年度年代別人口

町名	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	100-	人口計	世帯数
嬉野黒野町	男	19	24	18	26	32	37	38	39	22	7	262	
	女	13	14	37	17	30	37	34	48	39	6	275	
	計	32	38	55	43	62	74	72	87	61	13	537	197
嬉野算所町	男	13	12	12	19	17	21	24	17	9	4	148	
	女	11	12	13	18	16	21	31	15	15	4	156	
	計	24	24	25	37	33	42	55	32	24	8	304	123
嬉野須賀領町	男	35	35	13	26	49	29	38	37	13	0	275	
	女	31	27	23	31	48	31	36	41	35	11	314	
	計	66	62	36	57	97	60	74	78	48	11	589	238
嬉野田村町	男	9	15	18	10	22	26	26	37	19	5	187	
	女	5	18	16	20	16	28	29	35	28	8	203	
	計	14	33	34	30	38	54	55	72	47	13	390	170
嬉野津屋城町	男	33	52	54	56	66	71	116	78	34	7	567	
	女	39	42	31	57	72	85	116	92	58	11	603	
	計	72	94	85	113	138	156	232	170	92	18	1,170	504

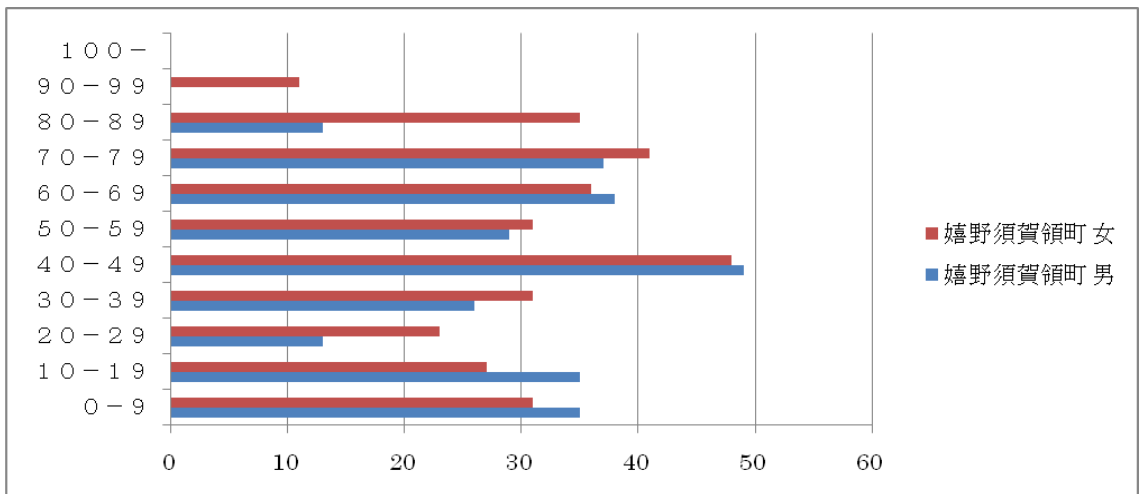
【嬉野黒野町】



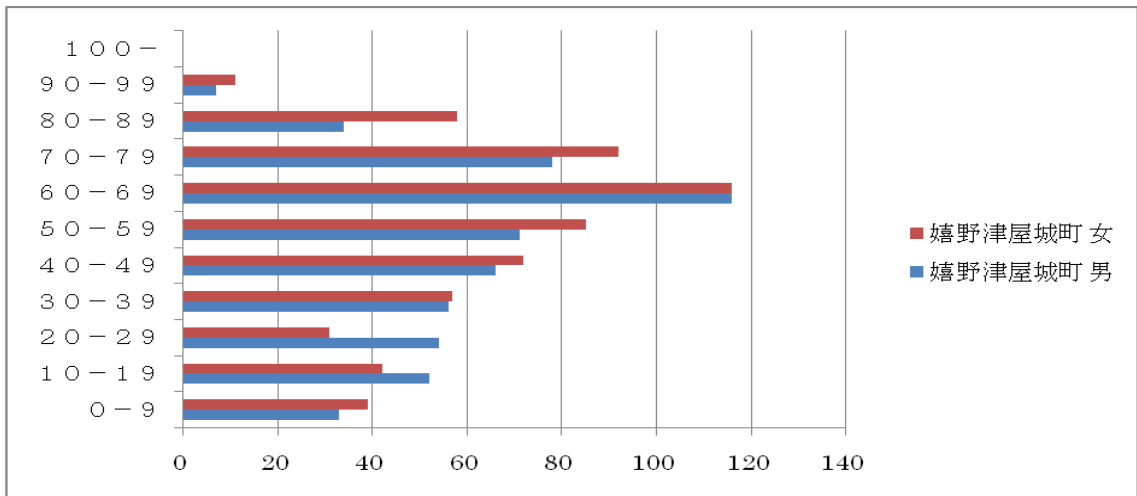
【嬉野算所町】



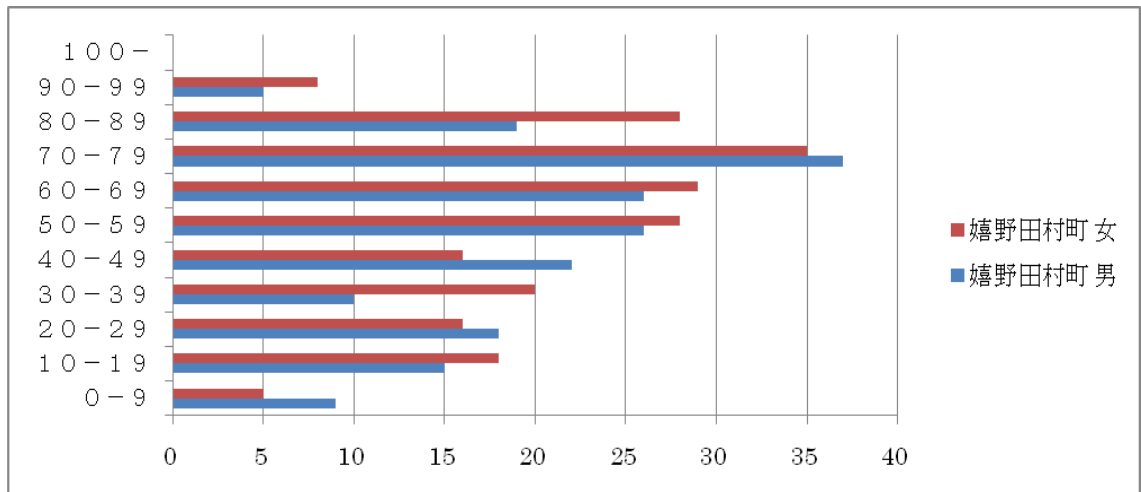
【嬉野須賀領町】



【嬉野津屋城町】



【嬉野田村町】



中原地区の人口推移は、平成 7 年国勢調査からみると、須賀領町地内をのぞき徐々に減少する傾向にあり、この 20 年余りで概ね 400 人前後の人口が減少しています。また、年代別にみると、全体として少子高齢化の傾向で推移しています。

(3) 地域の主な課題

どこの地区も同じですが、人口推移や年代別人口でわかるように、少子高齢化が進むことが予想されます。そのことによって、多くの課題が見えてきます。まずは、後継者不足の問題です。特に、農業に関しては、どの家も同じように田畑はもう他人に任す、という声が聞かれます。中原の特性としての田園風景や農作業風景は、共同経営組織や専業農家さんに任せるなど、地区全体で農業の未来を考えていく必要があります。次に、一人暮らし老人や二人だけの高齢世帯が多くなっており、高齢化や核家族化に伴い、各自治会で「空き家」が目立ってきており、課題となって

います。空き家は、防犯上の問題もありますが、家の老朽化が進み、塀が倒れそうになったり、壁がくずれそうになったりしており、災害時の被害増大や、近所への被害が予想され、対策が急務です。当協議会では、地域での見回り見守り活動がすでに行われていますが、「空き家」へも目を配る必要があります。防災訓練では、それぞれが身を守り、備える自助の訓練も大切ですが、地域として、高齢者世帯などへの配慮やみんなで助け合う共助の訓練が大切と考え、いざというときに地域が力を合わせて行動できるよう、今後も訓練を重ねていきます。

また、住民アンケートでは、近鉄やJRが通り、交通の便がよい、近くに商業施設も多いとの声もありますが、やはり高齢化が進むことを考えると、商店が少ないことへの対策、公共交通（コミュニティバス）の必要性があげられます。高齢者になっても、暮らしやすい地域にしていくことが必要と考えています。

2. 地域の将来像

～ふれあい・折りあい・支えあい～

「あい」の力で、いきいき元気に「育つ」中原

【将来像の考え方】

中原の将来に向けて、地域をつくる源となる自然、周囲の木々や稲作、野菜作りなど、いきいきと育っていくことが必要です。そして、人も、生涯を通じて学び成長していくことが大切です。「あい」は、もちろんすべてに対する愛情ですが、地域には三つの「あい」が必要と考えます。「ふれあい」「折りあい」「支えあい」です。人と人、人と自然、自然と自然、それぞれが関わり生活していく中では、まず、「ふれあい」でのコミュニケーションが重要です。それでも、すべてがうまくいくわけではないので、お互いの「折りあい」も必要。また、お互いに助け合っの「支えあい」がうまくいく秘訣となります。

当住民協議会のメインイベントである「中原グルメフェスティバル」を中心に、中原の「農業」と「食」をみんなで盛り上げて（育てて）いくこと、中原地区の人々が、作物を育て、自然を愛で、笑って元気に暮らせることを将来像としました。

そして、この地区の未来をつないでいくためには、「子ども」の育ちが重要です。土のぬくもりや芽がでる喜び、実りへの感謝、自然の畏怖、今の私たちが、子どもたちのために伝えていくべきもの、残していくべきもの、一緒に創っていくべきものを、地域ぐるみで考え、取り組んでいきます。

さらには、誰もが歳を重ね、「老い」を迎えます。誰もが、人生の終期をおだやかに過ごしたいと思うものです。そのためには、若い時からの自分への気遣いと近所付き合いが必要です。この中原地区で一緒に歳を重ね、支えあって老後を暮らしていけるように、地域ぐるみで取り組みます。

◎「子は地域の宝」計画

現在、小学6年生の男の子が「将来、この中原で農業をする」と言って、もうトラクターに乗っています。親の思いは別にしても、地域にとっては嬉しく頼もしい発言です。中原グルメフェスティバルでのなばなやブロッコリーの栽培や収穫体験は、子どもたちのアンケートでも楽しい体験として受けとめてくれました。こんな子どもたちを地域で見守り、育てていきたいと考えています。学校と連携しながら、子どもたちに様々な体験をさせ、地域の伝統や文化、味などを伝えていきます。そして、積極的に声かけをしながら見守り、子どもたちが地域の方々とあいさつを交わせるようにします。

また、アンケートで声が多かった、遊び場づくり、公園整備などを計画しながら、子どもたちがいろいろな場所に集い、学べる環境づくりとして、「まちじゅう図書室」を計画していきます。

◎「長寿幸せ」計画

歳をとってもいきいきと元気に暮らすためには、健康と生きがい大切です。ここで、「運動」「食事」「仲間」「学び」をキーワードに、若い世代の時から取り組みを進めていきます。自分の将来を見つめて、健康体力づくり、仲間づくり、趣味づくりなど、公民館活動を中心に取り組みます。

高齢になってからも、みんなで学ぶ気持ちや誰かの役に立つ喜びを忘れず、地域の一員として、子どもたちに昔話をしたり、培った技を伝えたりできるような仕組みづくりとともに、気軽に集まれる場所として「まちカフェ」を計画します。連れ立って外に出やすいように、ポイント制度を活用し、参加ポイントや呼びかけポイント、お助けポイントなど、ポイントが貯まる楽しみで参加意欲を促すことも計画していきたいと考えています。

さらには、高齢者が暮らしやすいよう、コミュニティバスの整備、宅配事業、福祉タクシーなどの充実を考えていきます。

3. 部会の取り組みと具体計画

(1) 中原の自慢を次代につなぐまち《実施主体 開発企画部会・総務広報部会》

中原グルメフェスティバルを中心に、子どもたちの体験活動などを実施し、地域の中で、子どもたちに伝えていくもの、残していくもの、子どもたちと一緒に創っていくものを企画・実施します。そして、その内容や当住民協議会の活動について、地域の内外に情報発信していきます。また、中長期的視点で、事業を計画していきます。

《事業計画》

①中原グルメフェスティバル

テーマ食材を栽培し、料理コンテスト等のイベントを通じて、地産地消と食育の大切さを考えていく。

②子ども食育体験（学校協働）

グルメフェスティバルに関連して、子どもたちに栽培・収穫体験や料理教室を実施し、食育の大切さを伝えていく。

③歴史探訪

地域の歴史や文化を知り、「温故知新」とする。

④自主財源の確保

ふるさと納税を推進したり、農業を通じた自主財源を考えていく。

（2）体力づくりで笑顔と元気あふれるまち《実施主体 体育部会》

地域の皆さんが健康でいきいきと笑顔で暮らせるように、事業を企画・実施するとともに、地域のコミュニケーションの活性化を図ります。また、歩くことを推奨し、健康づくり、環境配慮の両面に有効であることへの理解を深め、ウォーキング人口を増やします。

《事業計画》

①運動会

地区民総ぐるみで参加し、楽しみながら体を動かし、コミュニケーションを図る機会とする。

②体力づくりスポーツ大会

バレーボール大会、カローリング大会を実施。誰でも参加できる軽スポーツを取り入れていく予定。

③白米城へ登ろう

歩くことの大切さについて、周知を図る。

みんなでウォーキングし、コミュニケーションを図る。

④健康講座

健康づくりへの関心を深めるため、健康体操や講座を実施する。

（3）会話とふれあいが弾むまち《実施主体 文化教育部・総務広報部会》

子どもから高齢者の方まで、みんながあいさつを交わし、交流が図れるように、事業を企画・実施します。また、生涯学習の発表の場として、文化祭や子どもたちとのふれあい活動を行います。

《事業計画》

①文化祭

地域の方々の活動発表の場であり、交流の場として、地区文化祭を開催。

②異世代交流会

長寿会と小学6年生がスポーツ交流し、一緒にご飯を食べる。

③あいさつ運動

地域ぐるみで、あいさつ運動を展開し、子どもたちへの声かけも積極的に行

う。のぼり旗の設置。

④幼稚園・小学校応援活動

幼稚園、小学校と連携を図りながら、子どもたちに昔の遊びを教えたり、読み聞かせをしたり、様々な体験をさせる。

(4) 安全で安心して暮らせるまち《実施主体 防犯防災安全部会》

万が一の災害が起こった際に、地域みんなが助け合って行動できるように、事業を企画・実施します。また、普段の暮らしにおいても、安全安心に生活できるように、防犯対策、見守り活動などを行います。

《事業計画》

①防犯パトロール

自治会ごとに、パトロールを実施する。

②防災訓練の実施

いざというときに備えての啓発とともに、実施にどう動くか、自助・共助の訓練を行う。

③防犯灯の管理

自治会ごとに管理する防犯灯のLEDへの切り替えや修理等を行う。

(5) 自然と人をいたわるまち《実施主体 福祉環境部会》

高齢になっても、体が不自由になっても、ずっとこの中原で暮らしていきたいとみんなが思えるよう、そのために、みんなで支えあって行けるように、事業を企画・実施します。また、中原地区の豊かな自然環境を未来に残していくための活動を継続します。

《事業計画》

①敬老事業

高齢の方に喜ばれる内容を計画していく。

②見守り活動

一人暮らしの世帯や高齢世帯などに、防犯ブザーを配布したり、見守り活動等を実施する。

③ごみ減量・分別

リサイクル、ごみの分別等について、各家庭への啓発を図り、ごみの減量を呼びかける。

④環境保全活動

三渡川や公園等の草刈、清掃活動を進め、花いっぱい運動を推奨する。

4. 参考資料

地域計画を策定の際に実施した地区民アンケート結果です。

《一般アンケート》

問1 あなたの性別は ① 男 214 (人) ② 女 127 (人)

問2 あなたの年代は

① 20代 2 ② 30代 13 ③ 40代 39
④ 50代 71 ⑤ 60代 104 ⑥ 70代以上 95

問3 中原地区の住み心地はどうですか

① 良い 118 ② 悪い 11
③ どちらかというの良い 156 ④ どちらかというの悪い 20

よければ具体的な理由をお書きください

- ・のんびりして人も皆があたたかい感じがする
- ・近所の方々の交流親切
- ・自然が多く過ごしやすい
- ・交通の便がよい
- ・買い物が不便
- ・静かで住みよい
- ・台風による水害が多い など 63の意見

問4 中原地区の良いところを教えてください。

- ・静かで人がいい
- ・田園地帯で景色が良い
- ・人のかかわりがいい
- ・算所の三つ池
- ・豊かな自然
- ・歴史
- ・白米城
- ・中原神社 など 120の意見

問5 中原地区で、これからも残しておきたいものを教えてください。

① 豊かな自然環境 162 ② 健全な住環境 100 ③ 歴史や伝統 50
④ 近所とのつきあい 93 ⑤ のどかな雰囲気 131
⑥ その他 (公園・各行事のイベント・他地域から来た方々への配慮)

問6 中原地区の良いと思う点を教えてください (3つまで回答可)

① 近所づきあいがしやすい (人のつながり) 120
② 緑が多くまちが美しい (自然が豊か) 101 ③ 治安がよい 125
④ 医療・福祉サービスが充実している 22
⑤ 公民館活動やスポーツ活動の機会が多い 45
⑥ 買い物が便利 72 ⑦ 祭りやイベント、行事などが盛ん 32
⑧ 通勤・通学に便利 67 ⑨ 暮らしやすい 104 ⑩ その他

問7 中原地区に足りない (必要) と思う点を教えてください (3つまで回答可)

① 近所づきあい (人のつながり) 48 ② 自然の豊かさや農地を残す 36
③ 防犯・防災の体制 96 ④ 医療・福祉のサービス 107
⑤ 公民館活動やスポーツ活動 28 ⑥ 商店 150
⑦ 祭りやイベント、行事など 15 ⑧ 通勤・通学の交通手段 64
⑨ 暮らしやすさ 22 ⑩ その他 (福祉バス・おおきンバス・スーパー、コンビニ・公園、広場・三渡川沿いの桜・花のある樹木 など 21の意見)

問8 現在の困りごと、不自由に感じていることは何ですか（2つまで回答可）

- ① 自分や家族の健康 82
- ② ゴミ出しや買い物、家事 48
- ③ 仕事 22
- ④ 交通手段 55
- ⑤ 災害や緊急時のこと 169
- ⑥ 悪徳商法や犯罪にあうこと 23
- ⑦ その他（高齢化対策など 8の意見）

問9 将来、中原地区をどのようにしたいですか（3つまで回答可）

- ① 良好な生活環境の整ったまち 133
- ② 高齢者や障害者を大切にする福祉のまち 161
- ③ 犯罪や災害に負けない防犯・防災のまち 113
- ④ 道路や鉄道を活かした交通の便利なまち 59
- ⑤ 安心して子育てができるまち 97
- ⑥ 農業を中心に緑豊かなまち 35
- ⑦ 商業が盛んで買い物が便利なまち 71
- ⑧ 教育、文化、スポーツが充実したまち 35
- ⑨ 住民が健康で活気のあるまち 96
- ⑩ その他

問10 中原地区のために、今後どんな活動が重要だと思いますか（複数回答可）

- ① 防災訓練など安全安心への活動 152
- ② 高齢者の見守り活動 171
- ③ 子どもとのふれあい交流 84
- ④ 環境美化活動 67
- ⑤ 生涯学習の充実（人づくり） 45
- ⑥ スポーツ活動 22
- ⑦ 農業体験や食育活動 34
- ⑧ 健康づくり 90
- ⑨ 歴史や文化を後世に伝える活動 45
- ⑩ その他

問11 中原まちづくり協議会の活動を知っていますか、参加したことがありますか

- ① 知っていて、参加したことがある 106
- ② 知っているが、参加したことがない 129
- ③ 知らないが、今後参加したい 18
- ④ 知らない 52

問12 中原まちづくり協議会だより“いきいき通信”を知っていますか

- ① 読んでいる 133
- ② 知っているが、読まない 75
- ③ 知らない 52

問13 行政などの広報誌を読んでいますか（複数回答可）

- ① 市の広報「まつさか」 245
- ② 嬉野振興局だより「うれし伝」 155
- ③ 中原文化センターだより 142
- ④ 中原公民館だより 145
- ⑤ 中原いきいき通信 130
- ⑥ 社協だより「スマイル」 87
- ⑦ お知らせやイベントなどのチラシ 97
- ⑧ その他

問14 どんな情報が知りたいですか

- ① 市や中原の行事やイベントのこと 113
- ② 中原地区の活動の様子 77
- ③ 健康や福祉に関すること 122
- ④ 学校や幼稚園など、子どもたちの様子 33
- ⑤ その他（休日等の病院の診断・青年の声・防災 など 5の意見）

問15 中原地区が元気になるキャッチフレーズをつけてください

明るく元気な中原・笑顔の中原・助け合い中原・ふれあい、声かけ思いやり
人自然がつながる町・スマイル中原・まだまだ成長中原・広めよう地域の和
など 48の意見

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

《中高校生用アンケート》

問1 あなたの性別を教えてください。 ①女 14(人) ②男 11(人)

問2 年齢を教えてください。() 歳)

12歳 1 13歳 2 14歳 4 15歳 5 16歳 3 17歳 3 18歳 1

問3 中原地区が好きですか。

①好き 15 ②好きなどところもある 9 ③あまり好きではない 1

問4 中原地区にずっと住みたいですか。

①住みたい 11 ②住みたくない 2 ③どちらともいえない 14

問5 中原地区で、好きなところ、自慢できること(ところ)を教えてください。

・挨拶ができる ・自然が多い ・地区の方が優しい ・田んぼが多くある
・周りで農業がさかん ・駅がある ・仲が良い など 28の意見

問6 中原地区で、よくない(不便・困った)と思うところは何ですか

①車が多くてあぶない 3 ②あぶない場所がある 4 ③遊び場がない 8
④交通の便 5 ⑤あいさつをしない 0 ⑥地域の人が不親切 0
⑦店が少ない 23

よくない(不便・困った)と思うことを具体的に書いてください。

・街灯が少なく夜が暗い ・公園が欲しい ・コンビニが欲しい
・避難所が高台にない ・川の水が豪雨であふれる など 11の意見

問7 中原地区が元気なまちになるために、あったらいいなと思うものを書いてください。

・お年寄りの方でも歩いて通える店 ・コンビニ ・公園
・地域の人と交流できる場所 ・遊べる場所 など 21の意見

問8 中原地区がどんなまちになればいいと思いますか。(複数回答可)

①美しい自然環境が豊かなまち 8 ②美味しいものを作る農業のまち 6
③多くの人を訪れる観光のまち 5 ④便利で快適に暮らせるまち 10
⑤健康で安心して暮らせるまち 15 ⑥教育・文化水準の高いまち 7
⑦住民がふれあい笑顔で暮らせるまち 16 ⑧その他 (元気のあふれる町)

問9 中原地区が元気になるキャッチフレーズをつけてください。

・ふれあい、楽しい、笑顔が絶えない町 ・仲の良い町にしよう
・元気いっぱい僕らの中原 ・あたたかい心あふれる中原の町 など 17の意見

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

《小学生アンケート》

問1 あなたの性別を教えてください。①女の子 25(人) ②男の子 42(人)

問2 学年を教えてください。①4年生 23 ②5年生 21 ③6年生 23

問3 中原地区が好きですか。

①好き 38 ②好きなどところもある 25 ③あまり好きではない 2

問4 中原地区のどんなところが好きですか。(いくつでも可)

①いい景色がある 23 ②地域の人が親切 46 ③地域の人との交流 16

④歴史がある 3 ⑤楽しい行事・活動がある 40 ⑥スポーツが盛ん 2

⑦暮らしやすい 23

問5 中原地区で、好きなどころ、いいところ(自慢できる)を具体的に書いてください。

①好きな場所、好きな風景

・中原小学校 ・フレッシュ橋本 ・田んぼ ・下竜王野公園 など 49の意見

②行事やお祭りの中で

・おおきん祭り ・地区民運動会 ・野菜植え ・グルメフェスティバル

・もちつき大会 ・池ごね ・下竜王野お祭り など 64の意見

③だれかの行動で ④その他何でも

・挨拶をしっかりしている ・自然が豊か ・パトロールをしてくれる

など 26の意見

問6 中原地区で、よくない(不便・困った)と思うところは何ですか。

①車が多くてあぶない 10 ②あぶない場所がある 14

③遊び場がない 30 ④交通の便 0 ⑤あいさつをしない 0

⑥地域の人が不親切 0 ⑦店が少ない 45

よくない(不便・困った)と思うことを具体的に書いてください。

・コンビニがない ・店が少ない ・遊び場がない ・道が狭くなっている

・三渡川の水があふれやすい など 32の意見

問7 中原地区が元気なまちになるために、あったらいいなと思うものを書いてください。

・子どもたちの遊ぶ場所を増やし、お年寄りの方にその声を聞かせてあげる。

・交流をもっと増やす ・もっと行事がしたい ・人がふれあえる場所をつくる

・大きな声で挨拶をする ・ゲームセンター ・駄菓子屋 ・本屋

・大きな公園 など 104の意見

問8 大人になった時に、中原地区がどんなまちになっているといいと思いますか。

・最高に楽しい町 ・元気な町 ・誰とでも仲良くなれる町 ・明るい町

・平和な町 ・東京の原宿や渋谷みたいな町 ・みんなが親切な町

・みんながだれにでも挨拶ができる 農業の栄える町

・緑がいっぱい、地域の人と交流がとても深い町 など 55の意見

アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。